



### EA21ご活用事業者様紹介

## ◆トップダウンとボトムアップによる積極経営

### 株式会社 田島軽金属様

#### 組織の概要

従業員：95人、本社・工場：埼玉県羽生市、同市内に小松台工場あり、製品：砂型等の鋳型を使用したアルミ鋳物、マネジメントシステム、登録等：品質ISO、EA21認証・登録、埼玉県「彩の国工場」認定

#### 苦難と成長の軌跡

1968年鋳物の街 川口市で鋳物工場としてスタート。先代社長は36歳で早世、羽生工場移転の設備資金の確保に苦労したこと、バブル崩壊後の景気低迷等の苦難を乗り越えて、第2工場棟、第3工場棟、第4工場棟、小松台工場新設等階段を一段ずつ登って業容を拡大し、年商20億円になりました。また、今年創業50年の記念すべき年になりました。

#### 技術開発で先行

新しいアルミ素材（MMC。高精度、高剛性）、新しい工法（ポアレスカスト。内部の巣が少ない工法）等様々な新技術を開発・導入してこの業界をリードしています。特に大物アルミ鋳物では5本の指に入るほどの技術力をもっています（2t超えの大物鋳物の実績があります）。その結果、半導体製造設備、産業用ロボット、医療機器用大物部品に当社の製品が採用されています。



#### 3K職場の改善

工程内ではアルミ地金を700℃以上で溶かすための高温、鋳物砂による粉塵、騒音等典型的な3K職場です。職場内の環境改善としては、大形集塵機の稼働、エアコンの更新を行っています。

今年の4月には、砂型の中子製造工場を新設して、若い女性が楽に作業できることを追及して、充実した空調、作業の軽量化、コンベアーによる自動化を図っています。

一部の工程ですが、抜本的な作業環境改善の試みが行われています。

#### 環境負荷改善活動

非常に厳しい作業環境ですが、職場や集会室には品質、安全、EA21の掲示物がずらりと貼られており、活発な改善活動が窺えます。

トップダウンで社長から大方針が示されると、各職場の早朝ミーティングである小集団活動（10人程度の9団体で構成）で具体化策を考えて実行するという基本的な仕組みで実施されています。例えば、5Sの取組では、長期5S計画が立てられると職場では解決策を立てて、掲示し、更に社長パトロールで着実にフ

ォローアップしています。

### 環境負荷低減活動

当社の主な環境負荷は、アルミ溶解に使用するLPG、電力、鋳物砂廃棄物等です。

LPG対策としては、溶解炉の更新、不良削減に取り組み、2010年を基準とした原単位では2017年度には30%も削減しています。また、電力については、コンプレッサーのインバーター化、エアコンの更新等によって電力使用量原単位を8%削減しています。鋳物砂はリユースされているとはいえ、一部はやむを得ず廃棄されています。人工砂の採用、砂再生装置の改善等によって鋳物砂廃棄物原単位を15%削減しています。

当社は費用の掛からな消灯、分別排出といった運用改善を励行していますが、費用の掛かる投資改善をも実行していることが当社の取組の特徴の一つとなっています。

### 地域社会貢献活動

当社の環境活動と社会貢献活動は企業理念である「地域社会の一員として環境保全に努めます」が出発点となっています。

羽生駅改札口を出ると廃アルミ缶を集めて作ったお得意の鋳物 ゆるキャラ2体が笑顔で迎えてくれます。また、工場の周辺のゴミを拾うクリーン活動を8年間も続けていて、周辺の住民からは感謝されています。

更に、昨年は地域住民、関係会社従業員、当社の従業員とその家族をお呼びした工場見学会兼バーベキュー大会を(右写真)開催しています。特筆できるところは、役職者が家族、部下、関係者に感謝してサービスしている点です。

(EA21審査員 樋口 宗治)



全員参加の、役に立つEA21の仕組みとは？(第16回)

## 「環境上の緊急事態への準備及び対応」を経営に活かそう(その1)

まず、なぜこの要求事項があるのか、その目的から考えてみましょう。

環境目標に省エネ、省資源、廃棄物削減などを掲げて、環境にやさしい事業活動をしていこう、と言っているが、事故や災害が発生したときに、思わぬ有害ガスが出て、付近の住民への健康被害の不安を与えた。あるいは法基準値以上の有害物質を含む排水を流して、河川を汚染してしまった。

このような状況になってしまったら、「これで本当に環境にやさしい経営をしているの？」という疑いを持たれてしまうでしょう。

そこで、予め社内で保有する設備や化学物質、油類等の量や保管状況を調査し、事故や火災・天災が発生した場合に、それらがどうなるか、環境へどのような影響を与えるか、を想定し、事前に対応策を準備しておく。そして万一発生した場合に、最小限の影響にとどめよう、というのがこの要求事項の主旨です。

また、一方では、これらの緊急事態が発生し、環境へ重大な影響を与えた場合のことを考えると、付近住

民の健康被害が発生した、河川汚染が発生した、という社会問題に発展します。

これは何を意味するのでしょうか？

それは、「経営上のリスク」が発生したことになります。補償問題や、行政指導によって操業停止に追い込まれる可能性もあります。

経営者としては真剣に考えるべき問題なのです。社員にも徹底し、いざ、というとき迅速に対処できるようにしておく必要があることは、おのずと理解できるのではないのでしょうか。

ただ、中小事業者の場合、特定の業種（建設業、産業廃棄物処理業、めっき業など）を除いては、深刻な環境影響に至る緊急事態はそれほど想定されないのではないかと、思われます。

よって一律に緊急事態を想定して、形式的に訓練を行うよりは、その影響の度合いを評価して、その環境影響の重大性に応じた対応策を考え、訓練方法も計画・実施する方が合理的です。

一般的に、火災発生や天災発生時の緊急事態を想定されている事業者が多くみられますが、この対応策についても、視点を変え、それらが発生したときの「経営上のリスク」は何か、を考え、対応策を策定し訓練することが、経営と一体化した取組となります。（次号へ続く）

(EA21 審査員 須田 昭)



お願い

## 川越 IP 参加事業者紹介依頼

EA21の普及をめざし、認証・登録事業者の拡大のために川越IP（「EA21認証・登録研修会」）が川越市で開催されます。今回は川越市を中心として、富士見市、坂戸市、日高市、三芳町、川島町の4市、2町の共同事業として行われます。研修会は10月18日（水）、11月22日、12月12日、1月16日、2月20日の合計5回、費用は無料です。

締切が9月28日となっていますが、お知り合いの事業者様に紹介して頂ければ幸いです。なお、上記自治体所在以外の事業者様の場合には、地域事務局さいたま（048-649-5496）にご相談ください。

申込先:川越市役所環境政策課 電話:049-224-5866(直通)

URL:<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/jigyoshamuke/kankyo/ecochallenge/h30ea21ip.html>

報告

## 田島金属様において EA21 優良事業者研究会開催

前号で予告していましたが、9月13日に事業者様10人、彩進会会員9人合計19人が参加して優れた取組を熱心に勉強させて頂きました。

企業理念をしっかりと確立して、技術開発、環境負荷低減、安全管理に取り組まれています。オープンに説明して頂き、また親切な対応には参加者から感嘆の声が聞かれました。

来年も引き続き開催したいと構想しています。



報告

## EA21 座談会に参加しました

EA21の一環として認証・登録事業者の拡大を目指して、2018年9月11日川越市環境保全連絡協議会、EA21地域事務局さいたま、川越市、弊会が共催して座談会が開催されました。全体では31人が、弊会会員は6人が参加しました。弊会会員が基調講演を行い、その後に行われたパネルディスカッションにも参加しました。

NPO法人 彩の国環境活動推進会(略称：NPO法人 彩進会)とは・・・“低炭素社会形成に貢献”

県内における環境活動の推進を図る目的で、主にEA21 審査員で構成されたNPO法人組織です。環境経営システム構築・推進、省エネや省資源、モノづくりにおける不良低減や生産性向上などの生産性改善ならびに地球温暖化防止のための二酸化炭素排出抑制の関連制度や技術の開発研究、普及推進等の活動を実施している専門家集団です。

URL：<https://www.kankyo-saishinkai.com/>